

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日 令和7年3月17日				
子どもプラス盛岡南教室						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・ボール遊びなどは、周りの状況を確認して活動しています。 ・収納スペースを新たに確保してホールを広く確保していきます。	・活発な活動を好む利用者が多い日、時間にはそうでない利用者のスペース確保が難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	玄関口からホールまでほぼフラットになっている。	・洗面台に鏡があると良い。 ・人数、物が増えることに合わせて見直ししたり整理したりすることが必要だと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3		・1番と同様で工夫が必要ではないか。清掃や消毒等もう少しできることがあるのではないか。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・パーティションを使って静養室を確保している。 ・譲り合いながらスペースを利用している。体調不良時のスペースは必要、優先している。	左記の対応で今後も対応していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	・朝のミーティングでノートを取り、様々な意見を取り入れながら改善点があれば改善している。 ・午後の出勤者に回覧している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	現時点で第三者の外部評価は行っていない。	・配置はしている。 ・法令等を確認しながら検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		本部研修は全職員、外部研修は必要に応じて参加している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムはホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	2	保護者との面談は半年に1回は実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	全職員の意見を取り入れながら共通理解のもと、子どもの最善の利益を考慮した計画書を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	支援計画に沿った適切な支援を行っている。	左記の内容で今後も対応していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4	アセスメントツールは使用していない。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	個別支援計画書の作成の際は、5領域を踏まえた子どもの支援に必要な項目が設定され、その具体的な支援内容を盛り込んでいる。	左記の内容で今後も対応していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	意見を取り入れながらチームで行っている。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・個々に合わせて毎日異なる「運動あそび」を基本から応用に至るまで細やかに設定している。 ・「静かな活動」や創作活動など毎回異なる内容を取り入れて居る。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	その日の活動を朝のうちに大体は把握できるようにしたい	毎朝ミーティングで、その日に行われる支援内容やタイムスケジュール等を活動日報で確認している。午後から出勤するパート職員にも解りやすく記載している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	送迎があり、時間内に全職員が揃うことはほとんどないため、気づいた点などは、ミーティングノートに記録を残し、翌営業日の朝礼に行っている。	左記の内容で今後も対応していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		サービス提供記録・ケア記録・生活記録を毎日、パソコンでデータ記録している。	毎日作成し、モニタリング等に役立っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に一回のモニタリングを実施している。保護者に対してはできるだけ面談をつを行い、家庭や学校、他事業所の様子を共有しながら、子どもの生活や行動などの把握に努めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・相談支援事業所との連携調整は随時行っている。 ・契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え連携のタイセイを整えている。	左記の内容で今後も対応していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		今後必要があれば検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		今後必要があれば検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5			

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・利用者、ご家族を招いてレク活動を行っている。	年1回の交流会を設けているが、今後は必要に応じて回数を増やすことを検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	3	・対応の体制を整備している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報が記載されている書類等は鍵付き書庫に保管している。 ・廃棄書類等はシュレッダーにかけて処分している。	左記の内容で今後も対応していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		状態に応じて視覚支援等利用して情報の伝達をおこなったり、意思の疎通ができるように努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		今後保護者からの要望があれば、検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	各マニュアルは策定している。定期的に研修を行っており、マニュアルはいつでも職員が閲覧できる場所に設置している。	・周知が徹底されていない。 ・職員には周知しているが保護者に対して周知されていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPは策定しており、定期的に避難訓練も実施している。	左記の内容で今後も対応していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に服薬や発作等の気取りを行い、フェイスシートに記載してもらっている。服薬は与薬依頼書に記入してもらい、処方箋での説明書をコピーしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者からアセスメント取り、食物アレルギーがあれば、代替するなど対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		契約時に安全に関する説明をしている。	細かい内容についての説明はしていないので、今後それを含めた内容の説明を行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	契約時に安全に関する説明をしている。	細かい内容についての説明はしていないので、今後それを含めた内容の説明を行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットがあれば報告書を作成している。職員間で閲覧し、翌営業日のミーティングで共有している。	1回/月の職員会議で取り上げ、さらなる再発防止に取り組んでいる。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	・身体拘束等禁止適正委員会を設置し、指針や策定を作成している。 ・虐待防止・身体拘束適正化に向けた研修は年1回全職員が内部研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義についても説明している。	